



システム メッセージの概要

このマニュアルでは、Catalyst 3750 固有のシステム メッセージについて説明します。これらのメッセージは稼働中、システム ソフトウェアからコンソール（および任意で別のシステムのロギングサーバ）に送信されます。すべてのシステム メッセージがシステムの問題を意味するわけではありません。純粋に通知目的のメッセージもあれば、通信回線、ハードウェア内部、またはシステム ソフトウェアの問題を診断するうえで役立つメッセージもあります。このマニュアルでは、システムで障害が発生した場合に表示されるエラー メッセージについても説明します。

Catalyst 3750 プラットフォーム固有ではないシステム メッセージについては、『*Cisco IOS Software System Messages for Cisco IOS Release 12.2S*』を参照してください。

この章の内容は次のとおりです。

- システム メッセージの読み方 (p.1-2)
- エラー メッセージ トレースバック レポート (p.1-6)

システムメッセージの読み方

システムログメッセージは最大 80 文字と 1 つのパーセント記号 (%) で構成され、設定されている場合にはその前に、オプションとしてシーケンス番号またはタイムスタンプ情報が付加されず。メッセージは次の形式で表示されます。

シーケンス番号: タイムスタンプ: % ファシリティ - 重大度 - ニーモニック: 記述 (ホスト名 -n)

システムメッセージ出力はデフォルトで、ロギングプロセスに送信されます。スイッチスタックでは、スタックメンバーがシステムメッセージ出力に各自のホスト名を追加し、スタックマスター上のロギングプロセスに出力を転送します。

各システムメッセージはパーセント記号 (%) から始まります。構造は次のとおりです。

% ファシリティ - 重大度 - ニーモニック: メッセージテキスト

- ファシリティは 2 つ以上の大文字からなるコードで、メッセージによって参照されたファシリティを示します。ファシリティはハードウェアデバイス、プロトコル、またはシステムソフトウェアモジュールのいずれかを指します。表 1-1 に、Catalyst 3750 固有のファシリティコードを示します。第 2 章「メッセージおよび回復手順」で、ファシリティコードのアルファベット順、重大度の高い (数字が小さい) エラーから先に、各メッセージについて説明します。

表 1-1 ファシリティコード

ファシリティコード	説明	参照先
ACLMGR	ACL マネージャ	「ACLMGR メッセージ」 (p.2-3)
BADTRANSCEIVER	不良トランシーバ メッセージ	「BADTRANSCEIVER メッセージ」 (p.2-7)
BSPATCH	ブートローダ パッチ	「BSPATCH メッセージ」 (p.2-7)
CFGMGR	コンフィギュレーション マネージャ	「CFGMGR メッセージ」 (p.2-8)
CMP	Cluster Membership Protocol (CMP)	「CMP メッセージ」 (p.2-10)
DHCP_SNOOPING	DHCP スヌーピング	「DHCP_SNOOPING メッセージ」 (p.2-11)
DOT1X	IEEE 802.1x	「DOT1X メッセージ」 (p.2-14)
DTP	Dynamic Trunking Protocol (DTP)	「DTP メッセージ」 (p.2-20)
EC	EtherChannel	「EC メッセージ」 (p.2-22)
ETHCNTR	イーサネットコントローラ	「ETHCNTR メッセージ」 (p.2-26)
EXPRESS_SETUP	Express Setup	「EXPRESS_SETUP メッセージ」 (p.2-27)
FRNTEND_CTRLR	フロントエンドコントローラ	「FRNTEND_CTRLR メッセージ」 (p.2-28)
GBIC_SECURITY	GBIC (ギガビット インターフェイス コンバータ) モジュールおよび Small Form-Factor Pluggable (SFP) モジュール セキュリティ	「GBIC_SECURITY メッセージ」 (p.2-29)
GBIC_SECURITY_CRYPT	GBIC/SFP モジュール セキュリティ	「GBIC_SECURITY_CRYPT メッセージ」 (p.2-30)
GBIC_SECURITY_UNIQUE	GBIC/SFP モジュール セキュリティ	「GBIC_SECURITY_UNIQUE メッセージ」 (p.2-31)
HARDWARE	ハードウェア	「HARDWARE メッセージ」 (p.2-32)
HLFM	ローカルフォワーディング マネージャ	「HLFM メッセージ」 (p.2-33)
IDBMAN	Interface Description Block Manager (IDBMAN)	「IDBMAN メッセージ」 (p.2-34)
IGMP_QUERIER	Internet Group Management Protocol (IGMP) クエリア	「IGMP_QUERIER メッセージ」 (p.2-37)
ILPOWER	Power over Ethernet (PoE)	「ILPOWER メッセージ」 (p.2-38)

表 1-1 ファシリティ コード (続き)

ファシリティ コード	説明	参照先
IMAGEMGR	イメージ マネージャ	「IMAGEMGR メッセージ」 (p.2-40)
MAC_LIMIT	MAC アドレス テーブル エントリ	「MAC_LIMIT メッセージ」 (p.2-41)
MAC_MOVE	ホスト アクティビティ	「MAC_MOVE メッセージ」 (p.2-42)
PHY	PHY	「PHY メッセージ」 (p.2-42)
PIMSN	プロトコル独立マルチキャスト (PIM) スヌーピング	「PIMSN メッセージ」 (p.2-44)
PLATFORM	下位レベル プラットフォーム固有	「PLATFORM メッセージ」 (p.2-45)
PLATFORM_FBM	プラットフォームの Fallback Bridging Manager (FBM)	「PLATFORM_FBM メッセージ」 (p.2-46)
PLATFORM_HPLM	プラットフォームの Pseudo Label Manager (PLM)	「PLATFORM_HPLM メッセージ」 (p.2-47)
PLATFORM_IPC	プラットフォームの Inter-Process Communication (IPC) プロトコル	「PLATFORM_IPC メッセージ」 (p.2-48)
PLATFORM_PBR	プラットフォームの Policy-Based Routing (PBR; ポリシーベース ルーティング)	「PLATFORM_PBR メッセージ」 (p.2-49)
PLATFORM_PM	プラットフォームの Port Manager (PM)	「PLATFORM_PM メッセージ」 (p.2-51)
PLATFORM_RPC	プラットフォームの Remote Procedure Call (RPC)	「PLATFORM_RPC メッセージ」 (p.2-52)
PLATFORM_SPAN	プラットフォームの Switched Port Analyzer (SPAN; スイッチド ポート アナライザ)	「PLATFORM_SPAN メッセージ」 (p.2-54)
PLATFORM_UCAST	プラットフォームのユニキャスト ルーティング	「PLATFORM_UCAST メッセージ」 (p.2-55)
PLATFORM_VLAN	プラットフォーム VLAN (仮想 LAN)	「PLATFORM_VLAN メッセージ」 (p.2-57)
PM	ポート マネージャ	「PM メッセージ」 (p.2-58)
PORT_SECURITY	ポート セキュリティ	「PORT_SECURITY メッセージ」 (p.2-65)
QOSMGR	Quality of Service (QoS; サービス品質) マネージャ	「QOSMGR メッセージ」 (p.2-66)
RMON	Remote Network Monitoring (RMON)	「RMON メッセージ」 (p.2-70)
SDM	Switch Database Manager (SDM)	「SDM メッセージ」 (p.2-71)
SPAN	Switched Port Analyzer (SPAN; スイッチド ポート アナライザ)	「SPAN メッセージ」 (p.2-71)
SPANTREE	スパニングツリー	「SPANTREE メッセージ」 (p.2-72)
SPANTREE_FAST	スパニングツリー 高速コンバージェンス	「SPANTREE_FAST メッセージ」 (p.2-79)
SPANTREE_VLAN_SW	スパニングツリー VLAN スイッチ	「SPANTREE_VLAN_SW メッセージ」 (p.2-79)
STACKMGR	スタック マネージャ	「STACKMGR メッセージ」 (p.2-80)
STORM_CONTROL	ストーム制御	「STORM_CONTROL メッセージ」 (p.2-82)
SUPERVISOR	スーパーバイザ ASIC (特定用途向け IC)	「SUPERVISOR メッセージ」 (p.2-82)
SUPQ	スーパーバイザ キュー	「SUPQ メッセージ」 (p.2-83)
SW_DAI	ダイナミック ARP 検査	「SW_DAI メッセージ」 (p.2-85)
SW_VLAN	VLAN マネージャ	「SW_VLAN メッセージ」 (p.2-87)
SWITCH_QOS_TB	QoS Trusted Boundary (TB; 信頼境界)	「SWITCH_QOS_TB メッセージ」 (p.2-92)

表 1-1 ファシリティコード (続き)

ファシリティコード	説明	参照先
TCAMMGR	Ternary CAM (TCAM) Manager (TCAMMGR)	「TCAMMGR メッセージ」 (p.2-93)
UDLD	UniDirectional Link Detection (UDLD; 単一方向リンク検出)	「UDLD メッセージ」 (p.2-95)
UFAST_MCAST_SW	UplinkFast パケット送信	「UFAST_MCAST_SW メッセージ」 (p.2-97)
VQPCLIENT	VLAN Query Protocol (VQP) クライアント	「VQPCLIENT メッセージ」 (p.2-98)

- 0～7の1桁のコードで、状況の重大度を表します。数字が小さいほど深刻な状況です。表 1-2 に、メッセージの重大度を示します。

表 1-2 メッセージの重大度

重大度	説明
0 緊急	システムが使用不可能な状態
1 警報	ただちに対応が必要な状態
2 クリティカル	クリティカルな状態
3 エラー	エラー状態
4 警告	警告状態
5 通告	正常だが注意を要する状態
6 通知	単なる通知メッセージ
7 デバッグ	デバッグ時に限り表示されるメッセージ

- ニーモニックは、メッセージを一意に識別するコードです。
- メッセージテキストは、状態を説明するテキスト文字列です。メッセージのこの部分には、端末ポート番号、ネットワークアドレス、またはシステムメモリアドレススペースの位置に対応するアドレスなど、イベントの詳細情報が含まれることがあります。この可変フィールドの情報はメッセージごとに異なるので、ここでは角カッコ ([]) で囲んだ短い文字列で示します。たとえば 10 進数は [dec] で表します。表 1-3 に、メッセージの可変フィールドを示します。

表 1-3 メッセージの可変フィールドの表記

表記	情報のタイプ
[dec]	10 進整数
[char]	1 文字
[chars]	文字列
[enet]	イーサネットアドレス (たとえば 0000.FEED.00C0)
[hex]	16 進整数
[inet]	インターネットアドレス

マスタースイッチ以外のスイッチが生成した Syslog メッセージは、必ず (*Switch-x*) で終わります。*Switch-x* は、メッセージを生成したスタックメンバーの番号です。マスタースイッチが生成した Syslog メッセージは、ホスト名の文字列なしで表示されます。

次の例は、スタック マスターおよびスタック メンバー スイッチ（ホスト名は *Switch-2*）に対応するスイッチ システム メッセージの一部分です。

```
00:00:46: %LINK-3-UPDOWN: Interface Port-channel1, changed state to up
00:00:47: %LINK-3-UPDOWN: Interface GigabitEthernet1/0/1, changed state to up
00:00:47: %LINK-3-UPDOWN: Interface GigabitEthernet1/0/2, changed state to up
00:00:48: %LINEPROTO-5-UPDOWN: Line protocol on Interface Vlan1, changed state to down
00:00:48: %LINEPROTO-5-UPDOWN: Line protocol on Interface GigabitEthernet1/0/1,
changed state to down 2
*Mar  1 18:46:11: %SYS-5-CONFIG_I: Configured from console by vty2 (10.34.195.36)
18:47:02: %SYS-5-CONFIG_I: Configured from console by vty2 (10.34.195.36)
*Mar  1 18:48:50.483 UTC: %SYS-5-CONFIG_I: Configured from console by vty2
(10.34.195.36)

00:00:46: %LINK-3-UPDOWN: Interface Port-channel1, changed state to up (Switch-2)
00:00:47: %LINK-3-UPDOWN: Interface GigabitEthernet1/0/1, changed state to up
(Switch-2)
00:00:47: %LINK-3-UPDOWN: Interface GigabitEthernet1/0/2, changed state to up
(Switch-2)
00:00:48: %LINEPROTO-5-UPDOWN: Line protocol on Interface Vlan1, changed state to down
(Switch-2)
00:00:48: %LINEPROTO-5-UPDOWN: Line protocol on Interface GigabitEthernet1/0/1,
changed state to down 2 (Switch-2)
```

エラーメッセージトレースバックレポート

メッセージの中には、内部エラーが記述され、トレースバック情報が含まれているものがあります。この情報は非常に重要です。テクニカルサポートの担当者に問題を報告するときに、必ず提出してください。

次のメッセージ例にはトレースバック情報が含まれています。

```
-Process= "Exec", level= 0, pid= 17  
-Traceback= 1A82 1AB4 6378 A072 1054 1860
```

システムメッセージによっては、エラーメッセージをコピーしたうえでさらに対応を要求される場合があります。次のオンラインツールから、システムエラーメッセージの詳細を得ることができます。

Output Interpreter

Output Interpreter は、**show tech-support** イネーブル EXEC コマンドなど、さまざまな CLI (コマンドライン インターフェイス) コマンドの出力に基づいて、詳細情報および推奨する対応策を提供します。Output Interpreter には、次の URL からアクセスしてください。

<https://www.cisco.com/cgi-bin/Support/OutputInterpreter/home.pl>

Bug Toolkit

Bug Toolkit は、解決済みまたは未解決の問題点に関する情報を提供します。特定の Cisco IOS リリースで既知のバグをすべて検索できます。Bug Toolkit には、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/home.pl>

TAC への連絡

エラーの種類を特定することができない場合は、「[テクニカルサポート](#)」(p.xiii) を参照してください。